

事務事業名		文化財保護事業への補助			会計	一般会計			
H27担当課等名		生涯学習・スポーツ課		H27係等名	文化財保護係		H26係等名	文化財保護係	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
		施策	63	地域資産の保存・継承					
目的	対象(誰・何を)	国・県・市指定・登録文化財			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	指定文化財所有者と協働し、後世に伝えていくための保護措置を行う				国・県・市指定・登録等文化財数(件)		174	
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承されている地域資産の数(累計)							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	保護事業を実施した指定文化財数(件)			3	2	3	3	27年度計画を5→3に変更
	定性目標								
事業概要	<p>・指定等文化財の管理及び保護のために行う修繕等に補助金を交付する。</p> <p>・①文化財保護法の規定による国の補助金の交付を受けた事業 ②長野県文化財保護条例および補助金交付規則の規定による県の補助金交付を受けた事業 ③飯田市文化財保護条例の規定による指定文化財の管理及び保護のために行う事業について、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき補助する。</p> <p>・所有者が事業主体となって行う①指定文化財の保存のために行う修理及び災害復旧事業並びに環境整備事業 ②指定文化財の保護のために行う防災上の工事及び修理並びに災害復旧事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>・国・県の指定・登録文化財については、国・県教育委員会の指導を受けながら所有者等と協働して事業を行う。</p>								
事業内容					名称		活動指標		
26年度事業内容	1 補助対象事業				1 補助金額		1		
	(1) 立石の雄スギの雪害枝折れにともなう樹勢回復						(1) 91千円		
(2) 愛宕神社の清秀桜の安全対策・樹勢回復						(2) 108千円			
2 保護措置に関する協議				2 協議対象物件		2			
(1) 27年度以降の保護事業実施に関する協議						(1) 4件			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		566	2,000	199	2,334				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		566	2,000	199	2,334				
人件費計(千円)②		715		250					
正規職員所要時間		200		70					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		1,281	2,000	449	2,334				
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成26年2月の大雪による立石の雄スギの雪害による枝折れに伴う樹勢回復対策と、愛宕神社の清秀桜の枯枝及び老朽支柱の対策について、管理主体が行った取組みに要する経費への補助を行った。樹勢回復効果については、しばらくの間の経過観察が必要である。3物件について、平成27年度での事業実施に向けて管理主体等との協議した。								
改革改善の考え方	①問題点	文化財の多くが民間所有であり、経費負担を伴う保護事業の実施においては、所有者の費用負担を含めた理解・協力が課題となる。							
	②改革提案	文化財パトロール等を通じて保存状態を把握し、修繕等が必要な文化財については、所有者と十分な話し合いを行う。							